

No. 44

1999

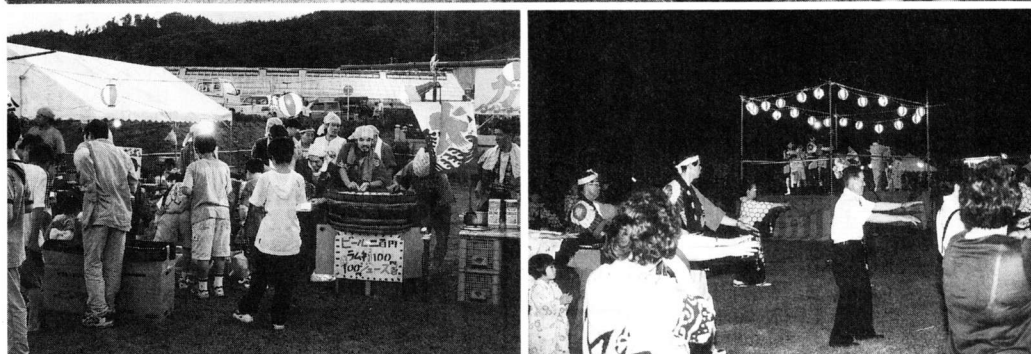
11月15日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田隆仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



好天に恵まれ千人を超える区民の大納涼祭
『萩の里祭り』 七月二十四日
「チビッコワッショイ」から各区の共演



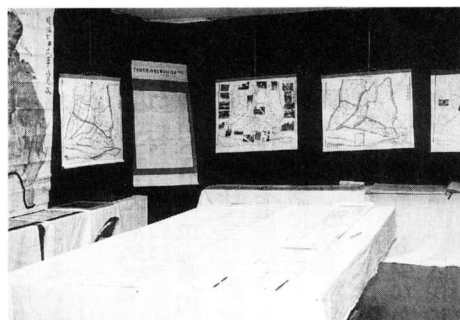
下市田区文化祭り・敬老会

(10月16日～17日)

(10月17日)

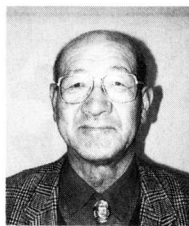
日頃の努力の成果発表と

敬老会では喜寿・米寿・卒寿以上の方66人を表彰



下市田区新三役の紹介と挨拶

区の新三役の任期が十月末で満了となったので、選挙管理委員会では改選の手続きをとり、区民による信任投票の結果、新三役が決定いたしました。



区長 長 隆 仁
富田

区民皆様御健勝の事と拝察致します。秋も深まり、産市田柿もたわわに実り、柿のれんが各所に観れる時期となりました。

さて、この度区新三役改選に当たり、熱意ある方々の出馬を強く期待しておりますが、残念乍ら〆切りを迎えてしまいました。推薦委員会の皆様の強い要請を断り難く、未熟をも省みず御引受け致しました。区民皆様の信任を頂き光栄と思ひ決意を新たに致しました。もう何日かで二〇〇〇年を迎えます。故村沢牧さんの政治の谷間に光をの一節に、農業は国の台所だ、地方は自然を守り文化を養って福祉は人間平等の証である、と記されております。来たる二十一世紀は食糧



副区長 塩 沢 学

問題や環境問題、又人を大切にする時代と言われております。しっかりと心に刻み、任務を果たして参りたいと思います。皆様の御指導心よりお願い申し上げます。寒さ厳しい冬を迎えます、充分御留意下さい。

平成八年二月世の中景気も悪く金利の低下等で、区の財政も厳しい中会計の責務をお預かりしまして、区長始め区民の皆様のご指導ご協力を頂き三年九ヶ月の任務を果たす事が出来ました。厚く御礼申し上げます。大勢の皆様に出合い頂いた誠意に感謝申し上げます。この度の改選に当たり、副区長の大役を仰せつかり、区長の補佐、庶務全般等、課せられた任務の重大さを痛感致しております。



会計 大 沢 操

区民の皆様にご指導を頂き乍ら微力ではありますが区の発展のため尽くして参る所存でありますので、よろしく御礼申し上げます。

此の度の区役員の改選により、区会計を担当することになりました大沢であり

区の情勢について

区長 富田 隆 仁

区報発刊に当たり区の情勢を報告致します。過日の文化祭、敬老会、カラオケ大会等区民皆様の協力により盛大に開催する事が出来ました。厚く御礼を申し上げます。

さて、旧大竜社跡地(一・四ヘクタール)に高齢者福祉施設として特別養護老人ホーム六十床、ショートステイ二十床、高齢者共同住宅・デイサービス・在宅介護支援センター等々具体的な検討が町の委員会に於いて研究されております。施設の内容、運営主体等大切

ます。よろしく御礼致します。もとより未熟者でありその器ではありませんが、選ばれた以上一生懸命努めてまいりたいと思います。

なにかと出費の多いなかで、区の費用をご負担いただくわけでありまして、この有効活用と健全な区の運営を図ってまいる所存であります。

区のことについては何も分かりませんので、区民皆

様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

退任挨拶

前副区長 仲平 眞司

平成三年選任されて以来、会計、副区長を歴任し思わず、永くお世話になりました。顧みればこの数年社会経済情勢の変転、変革は著しく、区の運営にも少なからぬ影響を及ぼし、区民にも迷惑をかけた事と思いま

す。こんな中で区長さん、会計さんと共に運営に携わって来れた事は、皆様の御指導とお寄せ戴いた御協力に依るものと深謝致しております。

此の間区民会館の建設、区民広場の獲得、設置或いは大型道路の新設整備等が進んでいる事等は喜ばしい事でありました。終わりに下市田区の発展と、皆様の御清栄を祈念して挨拶とします。

区委員

スポーツ大会

上 沼 俊 彦

去る九月十九日晴天で緑の芝の区民広場で、区委員約五十名の交流と親睦を深めるグラウンドゴルフ大会が開催されました。

区長の挨拶と競技の説明があり、若い男女(四十歳(七十歳)がスタート地点に別れ、日頃持ち馴れないスティックを握り、二人一組でスタート。説明された

はすの障害物やゲートの事も忘れ、強く打って左右にそらす人、打ち切れずチョロする人など広場内は笑いの連続。ホールインワン等の素晴らしいプレーも続出しました。

日頃は、会社にて、農作業にと励んでいる人達が、スティックを握ると思ひもよらぬ一面を見せ、和気藹藹のうちにゲームが終了。

続いて、元日赤病院長の塩沢先生に、貴重な話をしていただき、頭の体操もしました。

慰労会で、結果報告があり、優勝は富田・塩沢区三役組、紅一点参加の小宮山・北林公民館組がブリービー賞に輝き会を盛り上げました。

委員会活動報告

林務委員長 佐藤清司

正式に中止と決定した。）
七月中旬夏

今年四月に留任七名、新任五名の十二名で新しい林務委員会が発足し活動を続けて来ましたので、概要をご報告いたします。

初回委員会決定した年間計画に基づき、五月に委員による区有林の境界確認と、昨年十二月に門松取り

のため伐採した松の木の処理と跡地整備を実施。

六月下旬、区役員・代議員の方々と区有林境界の確認、区有林の状況視察を行い今後の管理につき意見を

お聞きした。又以前から懸案になっていた門松取りについて、検討をお願いした。

（十月の代議員会において

監査委員報告

監査委員長 栗下 正

十月二十一日下市田区一般・特別会計、公民館、萩山神社の今年度前期決算の監査を行いました。

特に区会計は現在の超低金利の為財源が減少し、やむなく出づるを抑えるより他ありませんが効率的運営をされてその苦心の程が感ぜられました。

正式に中止と決定した。）
七月中旬夏

の山作業として巡礼沢の下草刈りを実施。暑い中大勢出勤頂き有り難うございました。同日、委員により不動滝線沿線（区有林と接する部分）の草刈り実施。

九月には区のコミュニティ行事として、カラオケ大会に委員全員が参加し「与作」を熱唱しました。

この他、四月から十月の間に委員会五回、道具の手入れ（チェーンソー整備、鎌研ぎ）二回行いました。

今後の活動としては、十一月秋の山作業、十一月森作り人材養成講座への参加、来年三月春の山作業等を予定

収入の面でも独立世帯、アパート等へも細かく配慮し収入につながる努力がされていきました。

区政の面では代議員会記録を、短時間で見たが視せてもらいました。不偏、適切な運営が期待されました。

区有財産については、去る六月都合で監査員一名のみ参加でしたが区有林の現地確認をしました。順次登記簿、備品台帳等をもとと考えております。

定しております。

「山はいのちの源」といわれております。現在山林の経済的価値は低下していますが、環境保全面での重要性は一層高くなります。区民の皆様のご協力を得て、豊かな山作りに委員全員が努力しておりますので、よろしく願います。



公民館は地域の融和、活性化の中心として各部が活

発な活動をしていて心強く感じました。今後も時代に合った活動をお願いします。

萩山神社は産土神として生まれおちるから敬仰の念、心の安らぎの拠り所として堅く守られております。

以上何れも関係の方々が使命感にも似た心で当たられそれぞれが正常に運営されていくことにその労を多と感じました。

平成11年度 下市田区一般会計前半期決算報告書

（自平成11年4月1日～至平成11年9月30日）

収入金計 22,872,568円 支出金計 9,973,325円 差引残高 12,899,243円

I. 【収入金の部】

項 目	予算現額	決算収入額	比較(予算・決算)
1. 区 費	15,180,000	7,437,595	7,742,405
2. 繰 入 金	1,360,000	0	1,360,000
3. 町 支 出 金	3,550,000	3,027,093	522,907
4. 財 産 収 入	1,680,000	156,100	1,523,900
5. 寄 付 金	550,000	100,905	449,095
6. 消 防 義 務 金	2,600,000	2,750,000	- 150,000
7. 諸 収 入 金	350,000	282,373	67,627
8. 前 期 繰 越 金	6,500,000	9,118,502	- 2,618,502
収 入 合 計	31,770,000	22,872,568	8,897,432

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予算現額	決算支出額	比較(予算・決算)
1. 総 務 費	11,940,000	3,476,241	8,463,759
2. 環 境 衛 生 費	840,000	316,800	523,200
3. 林 務 費	1,020,000	96,969	923,031
4. 土 木 費	2,670,000	958,597	1,711,403
5. 水 利 費	2,640,000	1,684,333	955,667
6. 消 防 費	2,200,000	1,326,075	873,925
7. 公 民 館 費	3,010,000	1,510,000	1,500,000
8. 予 備 費	7,450,000	604,310	6,845,690
支 出 合 計	31,770,000	9,973,325	21,796,675

平成11年度 下市田公民館中間決算報告書

（自平成11年4月1日～至平成11年9月30日）

決算収入額 2,915,924円 決算支出額 2,044,423円 残高 871,501円

I 収入の部

△=減

科 目	予 算 額	既収入額	比較(予算・決算)
1. 繰 越 金	200,000	530,777	330,777
2. 繰 入 金	3,010,000	1,510,000	△ 1,500,000
3. 補 助 金	900,000	842,000	△ 58,000
4. 雑 収 入	1,000	33,147	32,147
合 計	4,111,000	2,915,924	△ 1,195,076

II 支出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	既支出額	比較(予算・決算)
1. 総 務 費	2,003,000	1,088,280	△ 914,720
2. 教 養 部 費	1,154,000	590,314	△ 563,686
3. 体 育 部 費	493,000	166,697	△ 326,303
4. 視 聴 覚 部 費	278,000	124,532	△ 153,468
5. 図 書 部 費	107,000	60,000	△ 47,000
6. 予 備 費	76,000	14,600	△ 61,400
合 計	4,111,000	2,044,423	△ 2,066,577

地元出身町議との懇談会

―教養部―

下市田区と公民館主催による「地元出身町議と区民との懇談会」は去る六月十二日午後七時より、下市田区民会館に於いて行われました。

原昭夫、倉沢岩雄、伊奈川義公、久保田昌幸、熊谷元尋各議員の御出席を頂き、公民館長、区長の挨拶のあと各議員より、議会活動報告をして頂きました。

※倉沢岩雄議員より

財政の指針について

現在、地方財政は累積する起債等で圧迫され、年々その度合を増している。私は本年度の予算について経費の節約を訴えている。

昭和五十―六十年にかけての七―六％という高い金利の起債を農協との協議の中で三・八％という今の金利に近いものにしてもらい、その中で二億円という金利が浮いた。

一昨年よりの不景気で各自自治体に対しては繰り上げ償還を認めているが、それを受けてと向こう三年間は起債が認められない。高森は八・六％の比率で県下六番目という事で比較的健全財政である。

※熊谷元尋議員より

情報公開条例の制定について

三月の定例議会に於いて町より情報公開条例の提案があった。それぞれの実施機関で検討時間が足りないのと、条文の中に不備な点があり、利用する町民にとって意義のある条例に変えて行く必要がある。

今迄に二回程専門家を招いて学習会を開いたが、今後も行う予定。

地域振興券の交付について

当町での交付の対象者は十五歳以下が二―四三人、六十五歳以上が二―四六人、合計三八九人である。

地域振興券の利用状況は大型店での利用率が高いが、この券が地域振興に役に立ったかどうか、こういったものが必要なのかどうなのかも議会も関心を持ちたい処である。

※久保田昌幸議員より

建設産業関係について

幹線道路の状況について
広域農道の進捗状況は四月に入り県道市田停線に信号機が設置された。牛牧線迄が開通。座光寺万才線迄は平成十二年―十三年に開通の予定。

下の河原を通る農免農道はそれぞれ関係地権者においている所だが平成十一年度中に南工区の用地買収をしたい。



産業課のソフト事業として五百九十万円程の調査研究費、設計委託料四百万円という予算づけである。これを出原の産直センターと結び高森の農産物のイメージアップを図る。

※伊奈川義公議員より

介護保険について

現在町の老人は四月一日付けで二八三〇人、高齢化率二二・四％、下市田九三三人二一・八％である。

町では平成十二年四月より介護保険制度を前提に計画立案中であり、この制度

の対象になるのが三七〇人―三八〇人位でそれを想定に試算している。

やすらぎ荘では、六月に県知事に居宅支援事業の申請を行うという計画である。どの様な事業内容かという、デイサービス二十人、特浴十人、デイホーム十人で、土日も使用したい。二十四時間の訪問看護とミニデイサービスとか、ヘルパーの派遣等を考えている。

高齢者へのサービスとして下市田南部方面への福祉バスが三便運行される様になった。センチナリアンで軽い痴呆症の人九人を預かれる公設運営の施設を四千五百万円で作る事になった。

※原昭夫議員より

南信州広域連合発足と

天竜社跡地利用について

飯伊十八市町村が一つになり南信州広域連合が四月一日に発足した。地方に権限委譲され、権限書の受け皿としての対応、介護保険制度、ダイオキシン対策、幹線道路整備事業等が大きな項目となっている。各市町村の伝統と個性を生かしながら福祉の向上を計る。

町で購入した天竜社跡地北側の土地を福祉施設にしたいとの要望がある。

特養ホーム六十床、ショートステイ二十床、デイケア、デイホーム、コミュニティ広場、在宅介護支援センター、ヘルパーステーション、売店等を計画している。町として特養については運営委員会の中で検討して行く方向である。

質疑応答

Q 湯ヶ洞線が藤が丘医院の所まで概ね調印ができ、埋蔵文化財の調査を行い工事にかかると聞いているが。
A 住宅密集地にも関わらず藤が丘医院の所まで御協力を頂いた。

Q 非常に道路事情が悪く朝の通勤時間帯が混雑している、この様な点を含めて今後の見通しについてお聞きしたい。
A 工事については当初平成十二年度迄が予定となっていたが、諸事情により平成十四年予定と延びた。

Q ダイオキシン問題で、本年度中に家庭用焼却炉を廃止するという様な事を言われたが、それは問題があるのではないかと。
A 家庭用焼却炉の問題も廃止の方向に進んでいるがもう少し様子を見ながら対応を考えて行く。

区民の納涼 コミュニティの場

盛況だった萩の里祭り

教養部

七月二十四日、第十三回萩の里祭りが盛大に開催された。好天の中「紅華」の皆さんによる呼びこみ太鼓と共に六時十五分開幕された。今年はおともかわい参加者「保育園児」による和太鼓の演奏と踊りワッショイワッショイで会場がとても盛り上がり、感心したり感激したりの一夜であった。また我が子の成長に目を細める若夫婦の姿がいたるところで見られ人目をひいた。



唄、花の盆踊りは民謡クラブ指導により全員。
 第二部 納涼盆踊り。各区の発表会。六区は市田章頭、一区は花の盆踊り、二区は日本列島百歳音頭、三区は高森音頭、四区はソーラン節、五区は炭坑節。
 第三部 子供花火大会。
 第四部 エアロビクス大会。
 第五部 納涼盆踊り大会。各区の盆踊り大会も、色々と催しも変わりとてもバラエティに富み区民をくぎづけにした。青壮年部によるお楽しみコーナーも出店が増えるなどとても盛況で、区民広場は溢れんばかりの人出で賑わい、九時二十分閉会した。

下市田区第十六回カラオケ大会

視聴覚部

市田区カラオケ大会



皆さん今日は。去る九月二十五日には下市田区のカラオケ大会に大勢の方のご参加を頂きありがとうございました。回を重ねて十六回目を終える事ができました。各地区の代表者、又、各団体の方にはお骨折り頂きありがとうございました。カラオケ大会も年々アイデアを凝らした組、全員で交互に歌われる方、等々もいて、出場される方も上手になられ、審査員の方々が優秀づけがたく悩まされていまして、反省会の折に、公民館長よりお話がありました。一昨年まではカラオケ大賞の方は翌年の有線うたくらべに参加して頂いておりましたが、今年度より町全体のカラオケ大会が無くなり残念です。カラオケ大会を行って行くうえで区民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。今後の参考とさせて頂きます。

公民館活動の中の行事として視聴覚部が担当しておりますが、なにせ素人部員

みんなで盛り上げた文化祭り・敬老会

十月十六・十七日、「下市田文化祭り・敬老会」が晴天に恵まれ開催された。
 ◆作品展示会
 屋外会場は盆栽展で、区内の愛好家の手による、見事な鉢々が並んだ。屋内では二階の全室が展示場となった。史談会による下市田区の歴史の研究発表。次は書・絵画等の展示室で、一般家庭人の作品とは思えぬ程の立派なものばかり。陶芸のところは、芸術作品と共に、保育園児の微笑ましい茶碗の厚さが伺える。手工芸では、指先の細やかな作業を思わせる作品が並び、それらを作り上げる過程をも、楽しく連想させてくれた。萩の間は、新しいセンスを盛り込んだ華麗な生け花展。こうしたすべての作品は見る人々に大きな



感動を与えるものばかりだった。
 ◆敬老会と舞台発表
 七十歳以上の招待者は二百人弱が参加。茶道クラブによるお茶の接待を受けてから式典へ。九十歳以上と米寿・喜寿の計六十六人の方には記念品を贈り、舞台発表では、各グループの鮮やかな衣裳が目をはき、日頃の稽古の成果を充分に見せたり、聞かせたり。合間には全員で歌い、軽い運動やゲームで盛り上がった。
 ◆お楽しみコーナー
 区民広場のグラウンドゴルフ。秋の陽射しをあびて芝生の感触を楽しみながら歓声を上げていた。

行政・文化施設の中心地

一区部落長 上沼啓孝

教育、文化、
体育の中心的
地域でもある
わけです。

一区部落一番の特徴は四百余の世帯数を有し、人口も町総人口の一割近い人がここに一区に居住しているという事です。この事は他区に比べ特筆に値するものと思います。加えて役場庁舎を始め小中学校、公民館、歴史民俗資料館、体育館等町の中枢的建物、施設がこの一区に集積されており、文字通り行政

している者の一人です。もう一つそれは新会所建設問題です。人口に対して現在の一区会所では余りにも狭く、又駐車場もままならぬ現況です。幸いこの件については賛成多数で建設に向け五十余名の委員の方々が鋭意努力している処です。この二つの案件については、地権者の方々に多大な心労をおかけする分ですがよろしく御理解、御協力の程お願い致します。



名の常会長さん始めそれぞ
れの方々に責任分担をお願いし、地域内の和を計りながら運営に努力します。

地域の紹介

笑顔で始める地域作り

二区部落長 小池正春

当地区は前任者が、三八号で紹介済みですが、百二十三戸の小じんまり

纏まった部落、便利な地域であり乍ら、さ程新しい住宅が増えるでもなく、昔から農家（兼業）の多い地域です。それ故高齢化率は町の平均二二％に対し二四％と高いのですが、若い時から農業で鍛えられたお体でしょうか、皆さん本当に

お元気で。そして農業には定年もなく、また現状は現役で働かなければならない社会情勢もあり、「私等

がやらねば日本農業はどうなる」と意気に感じての元気が、とも思われます。今年、五月から七十歳以上の皆さんで、月に一回のお茶飲み会「朝霧サロン」を始めました。該当される方が百名程おられますが、参加される人が五十名を下っ

たことがありません。何が魅力でお集まりなのかとお想いでしょう。

それはお話し上手なドクター、楽器演奏の上手な方、歴史に詳しい方、お話しの上手な方、加えて皆さん聞き上手。

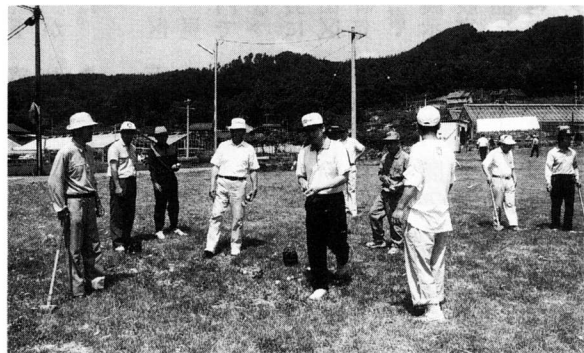
以上にも増して魅力のある事があります。それは小学校の子供さん達が六、七名交替で、学校で習った歌唱や童謡を聞かせて頂いたり、共にみんなで唄ったり。その時のおじいさん、おばあさんの笑顔の美しさ、

軽スポーツの集い

四区 加藤茂美

去る六月六日、「だれでも参加出来るスポーツを通じて心地よい汗を流そう」を合い言葉に、下市区「軽スポーツの集い」が、区民会館と同広場で開催されました。軽スポーツの集いは、今年で二回目となります。体育館で、参加者全員で、体育指導員の松長さん、唐沢さんのもとでウォーミングアップで体をほぐした後、新しいスポーツとして、カローリング、ボールカローティー、そしてラージボール卓球、輪投げ、グラウンドゴルフの五種目を、参加者が自由に選び各種目にチャレンジしました。

日頃の運動不足がたり、私達にとってウォーミングアップは、かなりきついものでした。ボールカローティーは、フランスのマルセイユの港で、船乗り達が石を投げて遊んでいたのが始まりで、ヨーロッパでは人気スポーツとのこと、最初に小さな標的球を投げ、その後



気分はアメリカ高森

5区 橋本武夫

サービス業と青いムクゲの花やリンゴ畑の中を、楽しみな業、激しい競争の中で、あわただしく走り続けて来た私にとって、高森町はまさに希望の理想郷とも言えるべき所でした。第一に飯田市街に近いと言う事、仕事上駒ヶ根・伊那の店舗にも楽々行ける事、今現在気分はアメリカの高森、それには訳があります。



ようこそ下市田へ

駅から近く学校や保育園、役場、農協と

高森町へ嫁いで

6区 高橋直美

第一回の交流会に参加させていただいたのがきっかけで、主人と知り合い、二年前東京から高森に嫁いで来ました。それまで高森という地名も知らず「長野」というと寒いイメージしかなかった私ですが、こちらで暮らし始めてからは、過ごし易い気候と、野菜や果実のおいしさを実感しています。結婚前に主人が高森の自慢をしていたのがよ

くわかります。もちろん結婚当初は東京の華やかさ便利さ、夜景の美しさなど懐かしく思う事もありましたが、今ではこちらに居るほうが落ち着くようになりました。やはり「自然」の豊かさのせいでしょうか。嫁ぎ先が料理屋と旅館を営んでいるということで、結婚が決まった時は実家の両親共々とも私を心配していました。長い間、親とでのんびり過ごしてきた私なので、それなりの苦労はあるものの、まわりの方々のやさしさにとても助けられています。こんな私でも



何処に行くのも便利で大型店も多くあり、特に緑の大きな公園は美しく数多くあるのが嬉しい事です。高校の同級生が牛牧に二人と知人が多いのも心強い事です。が、下市田の人達特にご近所の皆様のやさしさや、真心のある親切に触れて、何

「東京から来た」というだけで皆さんがとても喜んでくださって、本当に恐縮しています。なによりもこちらの方々の「言葉」のやさしさがとても好きです。私の姉は結婚当初、嫁ぎ先の言葉に慣れずに悩んでいました。実家から離れた場所に嫁いでも、それほどさびしさを感ぜないのは、そんな皆さんのおかげなのだと思っています。



浦安の舞 その1 起源と構成

萩山神社氏子総代 田戸純市

浦安とは、心中平安なるを謂う。この舞は神前神楽舞として、今から六十年前の昭和十五年、紀元二千六百年奉祝記念に、さきの昭和天皇が昭和八年御年三十三歳の時の御詠「朝海」天地の神にぞいのる朝なぎの海のごとくに波たため世をに時の宮内省で作曲振付制定し、紀元二千六百年記念に、全国の神社で御神霊奉慰の目的で、奉納指令されたのが始めである。女舞で雅楽に合わせ、正規は四人であるが、当萩山神社では、各区から選ばれた六人で舞っている。浦安の舞は厳格な規定作法で、次の四つ

浦安とは、心中平安なるを謂う。この舞は神前神楽舞として、今から六十年前の昭和十五年、紀元二千六百年奉祝記念に、さきの昭和天皇が昭和八年御年三十三歳の時の御詠「朝海」天地の神にぞいのる朝なぎの海のごとくに波たため世をに時の宮内省で作曲振付制定し、紀元二千六百年記念に、全国の神社で御神霊奉慰の目的で、奉納指令されたのが始めである。女舞で雅楽に合わせ、正規は四人であるが、当萩山神社では、各区から選ばれた六人で舞っている。浦安の舞は厳格な規定作法で、次の四つ

で構成され、参出音声、扇舞、鈴舞、退出音声の順に行われる。参出、退出音声は神楽笛一本の独奏曲で、舞姫の仮立場から舞座までの間の参進、退去に吹奏される。この曲に用いる神楽笛は、雅楽用の神楽笛に限定され、他の代用は厳禁されている。

写真は右から
古瀬 友美さん
久保田 美和子さん
清水 さくらさん
手塚 悦子さん
松村 圭子さん
本田 希さん

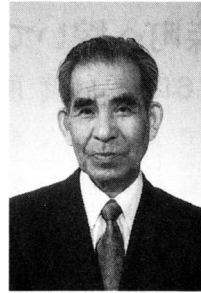
(続)

随想



「地域をもう一度見直したい」

二区 手塚 友逸



こつ然として出現し、日本の歴史の一部が書き改められるであろうと言われている「富本銭」なるものがこの下市田から出土していた。

吹けば飛ぶような将棋の駒ではないが、吹けば飛ぶような古銭が情報となって全国を駆け巡った。

下市田から出土したことは決して不思議ではない。この下市田が縄文、弥生、古墳時代から栄えていたことは、発掘調査などによって立証されている。殊に古墳などは高森全体で四十四基、そのうち下市田では四十基が確認されていたと言われていたが、現在では地域の開発などで殆んど消失

してしまっている。

下市田には古道も多い。今回の富本銭の出現によって「東山道」が通過したことは間違いないと思う。

また秋葉街道が静岡の相良を発して、塩を中心にして海産物を人や馬の背によって遠山谷上村から別れて、豊丘から天竜川を渡って下市田に入って吉田から北へ運ばれた重要な生糸道路であった。この道が秋葉神社参道としても大変にぎわったようである。

下市田はこのように歴史的には非常に古い地域であるが、一方では、諏訪湖を源にもつ天竜川流域に属し、この川を抜きにして自然や文化を語ることはできない。また目を西方に転ずれば県下に誇り得る「松岡城址」がある。区民の誇りとしてなんとかこの城址を整備し区民の憩いの場として楽しみたいと思うこの頃である。

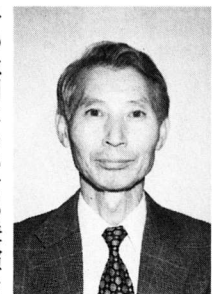
紙の町―伊予三島への旅

四区 近藤 昭弘

今年の夏、たまたま愛媛県の伊予三島市に行く機会を得た。当地は、飯田に匹敵するくらい水引の製造が盛んなところである。

どうせ行くならということで、行きは山陽自動車道を通り、NHKの大河ドラマで有名な赤穂城を見学。瀬戸大橋を渡ってあつという間に四国に。

伊予三島市に到着し、市の水引細工の無形文化財に指定された有高さんから伊



予の水引についての講演をお聞きする。伊予三島も飯田と同様に元結が盛んであつたが、明治の断髪令で需要が激減し、贈答品に掛ける水引に転換していったことと、第二次世界大戦中、出征兵士に贈る御見立(御懸)

若き日の想い出

五区 小林 美智子



東京オリンピックが開催された記念に出来た体育の日、十月十日。今年から、この高森町も運動会がこの日に制定された様です。体育の日に運動が出来るなんて何て幸せな事でしょう。この時期になると、毎年思

い出す事の一つは、ニチボー

貝塚のバレーチームの東洋の魔女の事。

昭和三十九年十月、オリンピック最終日、日本中が息を殺して観戦したあの試合。河西、松村、宮本、半田……。

私が高二の秋だったと思う。鬼の監督、大松博文率いる最強のチーム。現在の全日本チームの事を思えば昔の事で、技はそんなに素晴らしいものではなかったかもしれない。しかしバレーボールに対する情熱、根性、

に水引を使用した金封が使われるようになったこと。金封の生産は、中国にかなりのウェイトを占めていること。発展を続けた水引業も、少子化現象と結婚観の変化で特に祝儀用品が伸び悩んでいること等々、大変興味深いお話であった。

伊予三島市は、かつての塩田を埋め立てた広大な敷地に建設された製紙工場から関連企業まで含めると、従業員数は七割、出荷額は実に九割近くを占めるまさに紙の町である。

翌日は、その製紙工場を

チームワークが、あの貴重なメダルが取れた要因だった様に思う。

血の出る様な練習と練習、本当に素晴らしいの一語につきまます。

オリンピックが終わり静かになったある日、雑誌で「松村好子物語」苦悩の人生、バレーにかけた青春を読んで感動し、手紙を出して返事を待つ事、一ヶ月。手紙と色紙「なせば成る」が私の元に届き、びっくりしました。学校の友と一緒にオリンピックの感動を、もう一度味わう事が出来ました。私もお礼に飯田の土

見学。お札と切手を除いた全ての紙製品を生産していると聞いてびっくり。雨量が少なく原料が豊富なこの地に、水引業が興隆したことに納得。

帰路は大鳴門橋を通過して淡路島に渡り、北淡震災記念公園で野島断層を見学し、明石海峡大橋を渡って神戸に出るコースをとった。

忙しい日程であつたが、いろいろと勉強になった旅であつた。今度は、自分の運転する車でゆっくり訪れてみたいと思ひながら、帰途についた。

産や手紙を送ったりしました。それもいつの間にか途絶えてしまいました。青春の一ページとして飾る事が出来た事に感謝している所です。

あの様な団結に燃えたチームの再来はおそらくない気がしてならない。シドニーオリンピックをかけての監督の采配を問われる試合が十一月二日に開幕されるが果たして結果はどうか。あの東洋の魔女達も元氣はつらつ、バレーボールの更新に頑張っているかも。もっぱらスポーツは観戦のみの私である。

わたしの作文 ぼくの作文

30人
31脚

小五

前島綾香(三区)

私のクラスでは、去年からテレビでもやっている30人31脚をやっています。私のクラスは三十八人なので38人39脚で走ります。十月二十三日に大会があり塩じりに行ってきました。去年はもうちょっとの所で転んでしまいました。それがとてもくやしかったので今年こそ完走できるように工夫して練習してき

ました。グラウンドを走って体力をつけたり、ももあげをしたり本番がしばふなのではしふのある所まで行って練習したりしました。でも何回走っても、途中で転んだり練習がきつくて足や、うでが痛くなって休む人が出たりしました。私もひざが痛くて、一回休んでしまいました。大会前日、最後の練習の

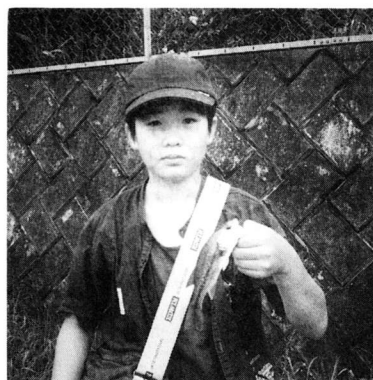
後、みんなで萩山神社へ優勝できるよう、おまいりしました。そして大会当日、今年は二十四チーム出場していましたがスタートの時、とてもきんちようして、足がガクガクふるえました。おまいりがきいたのか、みごと完走することができました。タイムは十二秒六四で、十五位でしたが、よくがんばったなと思いました。



授業に集中できないし、休み時間に立ち上がると、痛くて、おじいさんの様に、腰がまがってしまったりで、友達にからかわれたり、おもしろくなってきた部活に出られないなど、かなり苦しかったです。さっきも書きましたが、ぼくは、小学校のとき、全然運動をしなくて中学に入ってからいきなり、それで腰を悪くしてしまいました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ

た。中学生になって、少したつと、部活が始まります。自分で好きな部に入れるので、ぼくは、やった事はなかったけど、テニス部に入りました。小学校でも、クラブがあるけど、全然違いだいたい毎日、朝と、夕、練習があります。ぼくは、小学校では、運動系のクラブには、入ってなかったし体力もなかったで、始めのうちは、かなりつらかったです。で



も、そのうち、部活にも慣れて、楽しくなってきたころ、腰を悪くしてしまいました。痛くて、痛くて、座ると全体重が、腰にかかり、

後、みんなで萩山神社へ優勝できるよう、おまいりしました。そして大会当日、今年は二十四チーム出場していましたがスタートの時、とてもきんちようして、足がガクガクふるえました。おまいりがきいたのか、みごと完走することができました。タイムは十二秒六四で、十五位でしたが、よくがんばったなと思いました。

授業に集中できないし、休み時間に立ち上がると、痛くて、おじいさんの様に、腰がまがってしまったりで、友達にからかわれたり、おもしろくなってきた部活に出られないなど、かなり苦しかったです。さっきも書きましたが、ぼくは、小学校のとき、全然運動をしなくて中学に入ってからいきなり、それで腰を悪くしてしまいました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ

た。中学生になって、少したつと、部活が始まります。自分で好きな部に入れるので、ぼくは、やった事はなかったけど、テニス部に入りました。小学校でも、クラブがあるけど、全然違いだいたい毎日、朝と、夕、練習があります。ぼくは、小学校では、運動系のクラブには、入ってなかったし体力もなかったで、始めのうちは、かなりつらかったです。で

も、そのうち、部活にも慣れて、楽しくなってきたころ、腰を悪くしてしまいました。痛くて、痛くて、座ると全体重が、腰にかかり、

後、みんなで萩山神社へ優勝できるよう、おまいりしました。そして大会当日、今年は二十四チーム出場していましたがスタートの時、とてもきんちようして、足がガクガクふるえました。おまいりがきいたのか、みごと完走することができました。タイムは十二秒六四で、十五位でしたが、よくがんばったなと思いました。

腰痛に苦しむぼく

中一 後藤愛樹(二区)

UFO?

中一 中村朱花(六区)

九月の終わりのころ学校の帰り道、友達二人と私の三人で話をしながら家へ向かって歩いていました。私達はいつも、みんなの通る通学路から途中少しだけ外れる道を通って、少し遠回りして家へ帰る。そのいつもの道を歩いていたら友達

「あつ、あれ何?」と、空を指さして叫んだ。私は、友達の突然の叫びに一瞬びっくりしたけれど、友達があまりにも真剣な顔をしていたので、急いで指さす方を見た。するとその先には、オレンジ色に光って、山の向こうに落ちていく物体があった。私ははじめ、飛行機かなと思った。でも、別の方向を見てみると、本物の飛行機が、赤や黄色のランプでチカチカさせて空を飛んでいたの、オレンジ色に光る物体は、飛行機ではなくどう見ても、星にも見えな

授業に集中できないし、休み時間に立ち上がると、痛くて、おじいさんの様に、腰がまがってしまったりで、友達にからかわれたり、おもしろくなってきた部活に出られないなど、かなり苦しかったです。さっきも書きましたが、ぼくは、小学校のとき、全然運動をしなくて中学に入ってからいきなり、それで腰を悪くしてしまいました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ

た。中学生になって、少したつと、部活が始まります。自分で好きな部に入れるので、ぼくは、やった事はなかったけど、テニス部に入りました。小学校でも、クラブがあるけど、全然違いだいたい毎日、朝と、夕、練習があります。ぼくは、小学校では、運動系のクラブには、入ってなかったし体力もなかったで、始めのうちは、かなりつらかったです。で

も、そのうち、部活にも慣れて、楽しくなってきたころ、腰を悪くしてしまいました。痛くて、痛くて、座ると全体重が、腰にかかり、

後、みんなで萩山神社へ優勝できるよう、おまいりしました。そして大会当日、今年は二十四チーム出場していましたがスタートの時、とてもきんちようして、足がガクガクふるえました。おまいりがきいたのか、みごと完走することができました。タイムは十二秒六四で、十五位でしたが、よくがんばったなと思いました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ

授業に集中できないし、休み時間に立ち上がると、痛くて、おじいさんの様に、腰がまがってしまったりで、友達にからかわれたり、おもしろくなってきた部活に出られないなど、かなり苦しかったです。さっきも書きましたが、ぼくは、小学校のとき、全然運動をしなくて中学に入ってからいきなり、それで腰を悪くしてしまいました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ

た。中学生になって、少したつと、部活が始まります。自分で好きな部に入れるので、ぼくは、やった事はなかったけど、テニス部に入りました。小学校でも、クラブがあるけど、全然違いだいたい毎日、朝と、夕、練習があります。ぼくは、小学校では、運動系のクラブには、入ってなかったし体力もなかったで、始めのうちは、かなりつらかったです。で

も、そのうち、部活にも慣れて、楽しくなってきたころ、腰を悪くしてしまいました。痛くて、痛くて、座ると全体重が、腰にかかり、

後、みんなで萩山神社へ優勝できるよう、おまいりしました。そして大会当日、今年は二十四チーム出場していましたがスタートの時、とてもきんちようして、足がガクガクふるえました。おまいりがきいたのか、みごと完走することができました。タイムは十二秒六四で、十五位でしたが、よくがんばったなと思いました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ

授業に集中できないし、休み時間に立ち上がると、痛くて、おじいさんの様に、腰がまがってしまったりで、友達にからかわれたり、おもしろくなってきた部活に出られないなど、かなり苦しかったです。さっきも書きましたが、ぼくは、小学校のとき、全然運動をしなくて中学に入ってからいきなり、それで腰を悪くしてしまいました。

今度、運動をはじめようとしている人、いっきにやると、ぼくみたいに、苦しみを味わいます。少しずつ鍛えておけば、次に苦しむことはなくなります。そう思っ





グループ紹介

みんなで楽しく
やらまい会

一区 松岡修二

下市田公民館の教養部員として頑張った在任中、文化祭り等をお手伝いする中で日頃活動しておられる各種グループの皆さんが出版された数々の見事な作品に感動し、いつかあのような趣味が持てたらいいな、といつも話しをしていました。

色に焼き上がり、皆で試しにイッパイ会、とても美味いお酒が飲めました。この次は「お父ちゃん」の分を、オレのオカリーに白萩がいいかな。今年の正月は夫婦杯でカンパイ、今から楽しみで。やらまいか！何を？

・これからの人生、陶芸等自分に合った趣味を見つけて、目標を定め計画的に皆、楽しく希望を持って：

ひいらぎ会

2区 上沼重子

私達ひいらぎクラブは、下市田全地区から踊りの好きな者同志、六名が集まっております。クラブの発足は古いのですが、平成七年より指導して下さる先生が変わると共に踊りもがらりと変わりに、気持ちも新たに踊り一年生から始めています。

ただに一曲仕上がった時の充実感は一とお茶を頂き乍らの会話も楽しみの一つです。又民踊連合会の発表会、町・区の敬老会等の行事には都合のつく限り参加させて頂いております。親睦と和を合い言葉に、又健康と老化防止に楽しく明るいグループである事を念願し乍ら頑張っております。



つ先生に来て頂き、まづ足のはこび、腰の落とし方等、踊りの基本から教えて頂いているのですが、扇子使いなど難しくて一年に一曲覚えるのにやっとです。でも難し

・草原の椅子(上・下)
・癌を語る・夫の宿題
・寿司屋のかみさんお客さま控帳・日本語練習帳
・鹿教湯病院ありがとう

・源氏に愛された女たち
・とんでもない母親と情けない男の国日本・鉄道員
・小さいことにくよくよするな・こころの子育て
・「少年A」この子を生んだ・あなたの手のひら

新刊紹介

図書部

・始ばちゃんの伊那谷の昔ばなし
・鈴の鳴る道
・速さのちがう時計・弟・イマジン
・ノート・昭和
・定年で男は終わりのなか

・うつくしい子ども・兄弟
・節約生活のスヌメ・他力
・スプートニクの恋人
・母・住井すゑの横顔
・本当は恐ろしいグリム童話(ⅠⅡ)・負け犬の栄光
・子どもにウケる科学手品
・77・向田邦子の青春
・安楽病棟・黄金の石橋
・お金のことでくよくよするな・どうしたワセダが
・んばれ早稲田!!・節約しませう・手術室の中は闇
・吉永小百合街ものがたり
・五体不満足
・定年の身仕度

編集後記

前号でもふれたが、下市田区内の委員、役員の任期が全面的に変更されたことから、区報の発行を昨年より二ヶ月程遅れて発行することになったが、区の行事や公民館事業の開催時期はほとんど変わっていないので、前号の発行から今回四十四号発行までの間に主な事業が終了することとなり、今回の区報で取り上げる記事は実に豊富である。逆に紙面が不足の感はあるが増補はせず通常の十ページで編集したので記事によっては今一つのところもあるように思うが熟読の上ご理解をいただきたい。又、本号には十月に改選された区の新三役の紹介も掲載しましたが、区の三役はこの区報「萩の郷」の編集委員でもあることから、これを機に編集委員一同より愛される区報発行のために研鑽を積まねばならないことを痛感する次第である。それにつけても、区民各位の深いご理解とご協力を心からお願ひしたい。